

## 第2回加西市総合教育会議 会議録

- 1 開会日時 平成27年10月26日(月) 15時30分
- 2 閉会日時 同日 17時10分
- 3 開催場所 加西市役所1階 多目的ホール
- 4 出席委員  
市長 西村 和平  
教育長 高橋 晴彦  
教育長職務代理者 荒木 貴子  
委員 渡邊 隆信  
委員 内藤 堯雄  
委員 多田 久子
- 5 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名  
理事 一幡 孝明  
ふるさと創造部長 西岡 義信  
人口増政策課長 千石 剛  
人口増政策課主任 小林 和敏  
教育次長 小林 剛  
市参事 前田 政則  
教育総務課長 中倉 建男
- 6 傍聴者 一般：なし、報道機関：なし
- 7 協議事項
  - (1) 平成28年度予算について
  - (2) 第2期加西市教育振興基本計画の策定状況について
  - (3) 保育料の無料化について
  - (4) 幼保施設の統合について
  - (5) その他
- 8 会議内容  
別紙のとおり

## 【別紙】

### 1 市長あいさつ

### 2 教育長あいさつ

### 3 協議事項

- (1) 平成28年度予算について  
事務局より説明。

**市長** 総予算をどういう枠組みにできるのか、保育料の無料化にも挑戦したいと市民の皆さんにお約束している。どうお金を作り出すかは、現在、行財政改革プランの見直しを財政課で行っており、基本的には、23年度で策定した計画よりも良い状況で推移している状況です。今後、投資的経費について、7億を8億、または9億にできないかというのが、市長としての想いである。しかし財政当局は精査中であり、現時点では素案が無いので総額がどうなるかによって変わってくるし、どんどんやっていきたいが取捨選択、いつから始めるのかになると思う。幼保一体化のところで、善防地区に2つの認定こども園ができるが、中学校区に公立一つという枠組みもあり、考えないといけない。姫路へ通勤する人が預けることができるなど特殊な状況もあるようなので、総合的にみて将来的にどうするのか考えないといけない。この件は、今まで議論したことがないので、議論していきたいと考えている。公立と民営との棲み分けが重要であり、基本的に民間が出来る事は民間に任せて、採算性に合わない分野を公立で運営するという考え方を持っている。ただ、泉中校区は、公立でまず開設しないと前に進まないと思う。平成30年度より実施したい北条西保育所と北条幼稚園については、民間の公募をして欲しい。保育料の無料化を平成29年度からやりたいということですが、人の確保も含めてできるだけ公立でそげる所はそいでいって人を確保し、公立でしかできないところは特化してやりたいという思いがある。今整備した北条東認定こども園についても公設だが、民営も視野にいれてほしい。就学前教育については、総合的な充実を図りたいと考えている。

- (2) 第2期加西市教育振興基本計画の策定状況について  
事務局より策定の進捗状況について報告。

[意見・質疑]

**市長** 第1回の総合教育会議においては、第1期の教育振興基本計画を教育大綱に置き換えるということで、混乱を招かないためにも承認したが、第2期については考えさせてもらいたい。大綱はどうあるべきか市長部局として企画中心に調整をしたいと考えている。決して、教育振興基本計画を反対するものではなく、大

綱としてそのままではなく大きなものとして何か考えたい。

**委員** 今年初めて教育委員会制度が改正され、大綱という言葉が出てきたが、大綱は市長が策定する大きなもの、教育振興基本計画は教育委員会という位置づけで良いのか。

**事務局** 第1回総合教育会議においては、市長より具体的な教育活動・推進は学校の特色や学校長の方針があるため大綱は加西市として各学校一律に縛ることはせず、重点目標7つをもって、それぞれの子どもの特徴・成長に即した指導をいただくようにとの言葉をいただいた。現場にとってはありがたい大綱を作っていた。第2期については、法的には大綱に置き換えることが可能であるということになっている。

**委員** 教育振興基本計画も大綱も市民全体に向かって発表するものであるが、内容が教育の中なのでかぶって当たり前、大まかな筋は同じであるべきだと思うが、それを別で決めるといふのはどういうことか。

**市長** 教育振興基本計画を大綱に置き換えるだけでは、この会議の意味がない。市長が大綱を定めるということの意義をどう発揮できるのか、他の事例の研究をしながらしっかり果たしたいという想いがある。

**教育長** 施設統廃合などの方向性など大綱で明示すべきかと考える。施設改修なども教育委員会で決めるものでなく全体的な公共施設のあり方の中で考えるべきである。教育部分の基本的なものを採用いただきたいと思う。

**市長** 教育の中身以外の元々市長が担っていた部分、学校をどうしていくのかなど謳えるものは謳い、せつかく総合教育会議という新しい枠組みが出来たので、意味あるものにするために提起したいと思う。

**委員** 市長の言われたことは大事なことと思う。フランクに話をできると解釈させてもらった。いろんな場で意見を聞いてもらえ、予算も教育の効果として言わせていただけるのだと思いましたので、よろしくをお願いします。

**事務局** 教育振興基本計画の進行状況に合わせまして教育大綱のあり方につきましては、事務局でも検討しお示ししていきたいと思っております。

(3) 保育料の無料化について

(4) 幼保施設の統合について

事務局より保育料の無料化、幼保施設の統合について一括説明。

[意見・質疑]

**教育長** 無料化するのには、予算さえあれば4歳・5歳でしたらある程度やり易いと思う。29年度に実施するとかの検討は必要であり、反対するものはないと思う。

**市長** 市長としては、これは定住化策である。人が増えなければ施設も運営できなくなる。そこは施設が健全に運営できるような確保をする意味では、ちょっと出生率を見てももらえれば加西もダントツに1.26と低い。県下では1.46とな

っているので、子育て世代が結婚して市外へ出てしまったから、こういう状況になってしまっている。出生率をいくら上げようとしても上げられない状況になってしまった。未婚率の問題とか、それを早期に本来加西市に住むべき人は加西に住んで子育てしてほしいと思う。そういうことを何とかアピールしようとしたら、今までにも病児病後児保育などをしてある程度の効果はあったが、決定打を打っていかねばいけない。戻すという意味では、今までの決定打になっていない。しかし、今のこの時期に保育料の無料化は決定打になると思っている。実費徴収も含めて慎重に判断しないとせっかくやっても効果がなかったら、1年遅れたら、2年遅れたら、では効果がない。近隣市は、中学3年生まで完全無料化、所得制限なしというのを他市町よりも一早くやったことが、イメージを作ってしまった。イメージづくりは、若い方々には大事ですので、定住化を図るということはその地域の持続可能性を高めるということに若い世代が早く回復するというのが、市長としては神経を集中しているところである。これをいくら5年後に努力してみても意味がないし、子育て環境の充実は一貫して良いが、子育て環境を良くして、暮らし向き、教育環境を良くすることは一貫してそのことによって効果がでるのである。定住化ということに対する加西市のイメージを定着させるには平成28年度に絶対やらないといけないと考えている。ただ、民営化については、当然議論が必要なので、どんどんおっしゃっていただきたい。通常は、公立でちゃんと責任をもった教育環境を整えるというのが、一般的でありよく理解しているが、いろんな状況やバランス感の中で、一方ではそういう時代でもある。民間が何も悪いわけではないし、人も現実には公立園の定数は随分割っているが、民間はオーバーしている状況である。北条幼稚園と北条西保育所についても、地区協議会で図って意見をもらって欲しいと思う。北条東についても募集して1社が手をあげた。しかし、幼保連携型のこども園でなかったので、委員の判定としては反対が多かった。民間の保育所は無視できないし、加西市が公立ですべて実施するのは無理ではないかと考える。しっかり地域の人々からの意見を出していただき再度議論いただきたい。

**委員** 以前、前市長の時にも幼稚園・保育所の民営化の話が出ていました。民営化は必ずしもマイナスばかりでなくメリットもあります。公立にしかならないこともありますのでバランスが必要であると思います。以前、市の幼児教育すべてを民営化してはどうかという案も一時は出ておりましたが、特別な支援を必要とする子どもに適切に対応するための条件整備や、市全体の教員・保育士に対する計画的で継続的な研修等は民間任せにはできないという意見があったことを記憶しています。今回、民営化を一つの選択肢として考える上で、いろいろなメリット・デメリットを総合的に考えて進めていただければと思います。

**市長** バランスよくやらないといけないと考えている。全国的に幼保の幼児教育に挑戦される都市型のところに手をあげていただければ良いと思う。従前型の社会福祉法人の延長の保育園を運営されているところが認定こども園ということで新たな挑戦をされている。公立の良さは、やめない、若い人ばかりではない、蓄積してきたものがあるということだと思う。公が担う所をしっかりと示し、それぞれ

が競い合うためにも、入り口は広くあけて最終的にどちらにすべきか判断したら良いと思う。絶対民営化でないといけないという考え方ではないし、市長としては市全体の経費の問題、民間であれば施設整備など総合的に検討し、入り口で排除せず民間にも手をあげていただいて、ダメであればそういう結論を出せば良いと思う。

**委員** 無料化という事について、政策的な一つの方法ですし、それを詳しく聞いて十分考えていく必要があると思いました。基本計画になるが、学校、地域、家庭が一体となってというのは誰でもよく使う言葉である。三者の責任とするか議論していただいたらよいと思う。そういうことを考えると、どうしても学校に責任や役割が偏り、無料化になれば家庭では、親がすることは、これだけしようとか、だんだん誰かに子どもを育てる基本的なところまで任せてしまうように思う。学校や保育所や幼稚園などに丸投げということは、施策を打ち出すところと教育委員会で打合せながらやっていかないと、家庭の役割というものを十分理解して協力をお互いにし合うことが、教育の面からみると大事なことだと思う。これ一辺倒ではすべて解決できないので、加西の実態に即して協力していくことや、一層、「学校」「地域」「家庭」が一体となって取り組むことが大事だと改めて感じました。

**委員** 無料化ということで、教育の方で入っている幼児と保育として入っている幼児があるが保育料は違いますか。

**事務局** 時間が2時までなので教育の方が安くなっている。

**委員** せっかく無料化ということを出されたら、保護者から損得の話が出てこないように、どれだけ実費を徴収するとか、ここまでは基本として徴収するとその辺りは今からの話ですか。

**市長** 保育料の無料化と言っているが、4・5歳は全部が対象とする予定である。今からは認定こども園ということで、幼稚園や保育園という施設ではなく認定こども園という両方を包含した施設である。整備も市全体的にしていけますので、幼稚園もするというご理解いただけたらと思う。ただし、実費の分はどうするのかということは今からである。

**委員** 無料化することによって一番のメリットは経済的負担の軽減だと思いますが、今、加西市がおかれている状態や様々な家庭環境のある中で、一番希望している所がそこなのか、無料化しても老朽化している園舎に通わなければならないであるとか、保育士の確保が追いつかない為に、保育士が少ないということは、質の確保もなかなか難しい。日々に仕事、働く人の待遇の低さも出てくるかもしれない。とういことも考えて果たして無料化することで、一番人が集まるかということは、考えるところではある。市長が言われていたが、他市がそういう取組をすでにされているということでそういうことも鑑みてというお話だったが、例えば同じサービスがあったときにどちらが良いかという状況におかれたときに何が違うのか、こっちには付加価値がついているであるとか考え方もできるかなと思う。つまり無料化だけでは非常に子どもを預ける親の心理として施設の充実、先生方の質の高さにウェイトをおきたいと思うので、その辺の整備を同時進行でしてい

くことは重く考えたいなと感じた。民営化については、公立であるとか民営であるとか、それぞれの良さがあると思うので、どちらが良い悪いは本当に各家庭での考え方の違いが大きい。例えば北条こども園について、民営化を目指した時に平成30年の開設は難しいのではないか、時間がかかるという問題も出てくるとい事でしたので、その辺の条件整備を考えた上で、どの選択が良いのかはもうちょっと議論をする必要があると思いました。

**事務局** いろいろなご意見を承りましたが、今後も丁寧な対応ができるように事務局としても進めていきたいと思ひます。これを持ちまして、第2回加西市総合教育会議を閉会といたします。

#### 4 閉会